

FUJITSU Software

シンプリア ヴイエフ ソックチェック

SIMPLIA VF-SOCCHK V21

ご紹介

(プログラムレビュー支援ツール)

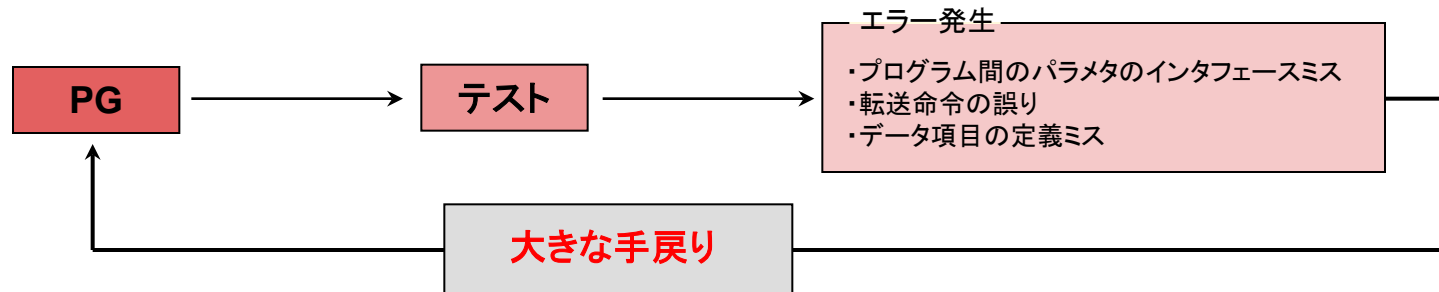
第 3.3 版

富士通株式会社

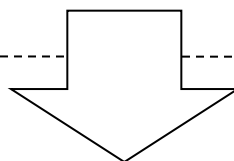
1. VF-SOCCHKとは
2. 特長
3. 機能概要
4. リスト出力例
5. 運用方法
6. ご使用にあたって

1. VF-SOCCHKとは

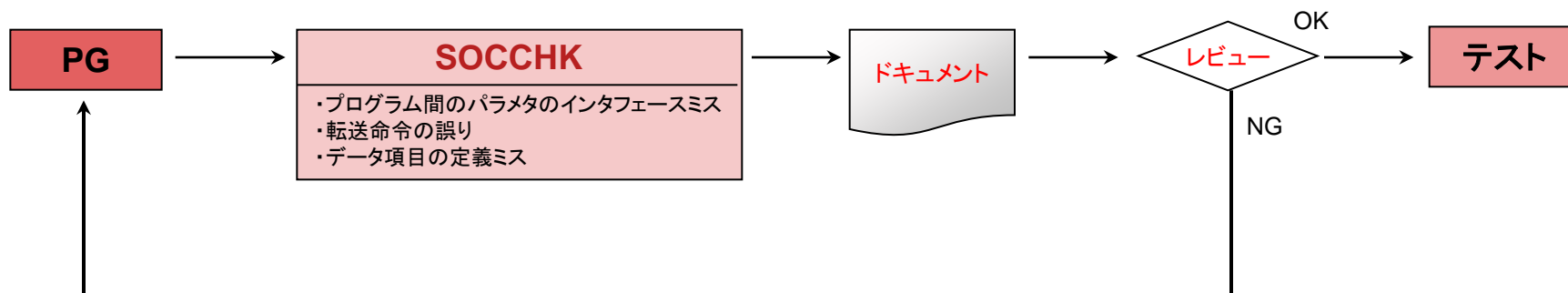
従来



SOCCHK導入後



プログラムの目視、テストで発見していた誤りをSOCCHKでドキュメント出力



- ◆ テスト工程で発見されるエラーの多くを占める、プログラム間のパラメタの誤使用などを、プログラミング工程で発見することにより、手戻りを防止。
- ◆ SOCCHKにより、ソースの目視チェックからドキュメントで自動チェック。
- ◆ 大幅なプログラムのレビュー短縮と、標準化されたチェックが実現。

2. 特徴

① 単純ミス発見に有効なドキュメント出力

- ・プログラミング工程の誤りのうちの多くを占めるインタフェースミス・転送ミスなどをチェックし、以下のドキュメントを出力する。
 - － インタフェースチェックリスト
 - － CALLパラメター一覧
 - － PROCパラメター一覧
 - － 不当転送チェックリスト
 - － データ項目関連図
 - － 使用項目一覧

② 解析範囲の指定

- ・必要とする情報だけを出力するために、解析する範囲を指定することができる。

③ 日本語変換出力

- ・英数字で定義された利用者語を、日本語名標辞書を利用することにより、日本語名で出力することができる。

④ YPS／COBOL85、COBOL85対応

- ・YPS／COBOL85及びCOBOL85で作成されたプログラムの、どちらも対応できる。

3. 機能概要

インタフェースチェックリスト出力機能

下位プログラムを呼び出すときに使用するパラメタを、誤使用していないかチェックできる。
下位プログラムの情報は、補助機能であるインタフェース定義作成機能より事前に作成する。

CALLパラメタ一覧出力機能

下位プログラムを呼び出すときに使用しているパラメタの一覧を出力し、
下位プログラムへのデータの設定もれや、判定もれをチェックできる。

PROCパラメタ一覧出力機能

プログラムが定義しているパラメタ(手続き部のUSING句)の一覧を出力し、
他プログラムが呼び出すときに使用すべきパラメタの一覧を表示できる。

不当転送チェックリスト出力機能

プログラムが定義している転送命令などを調べ、送出し側データ項目と、
受取り側データ項目との属性などの誤りをチェックできる。

データ項目関連図出力機能

プログラムの送出し側データ項目と、受取り側データ項目との関係を図形化し、
出力帳票などに正しくデータが編集されているかをチェックできる。

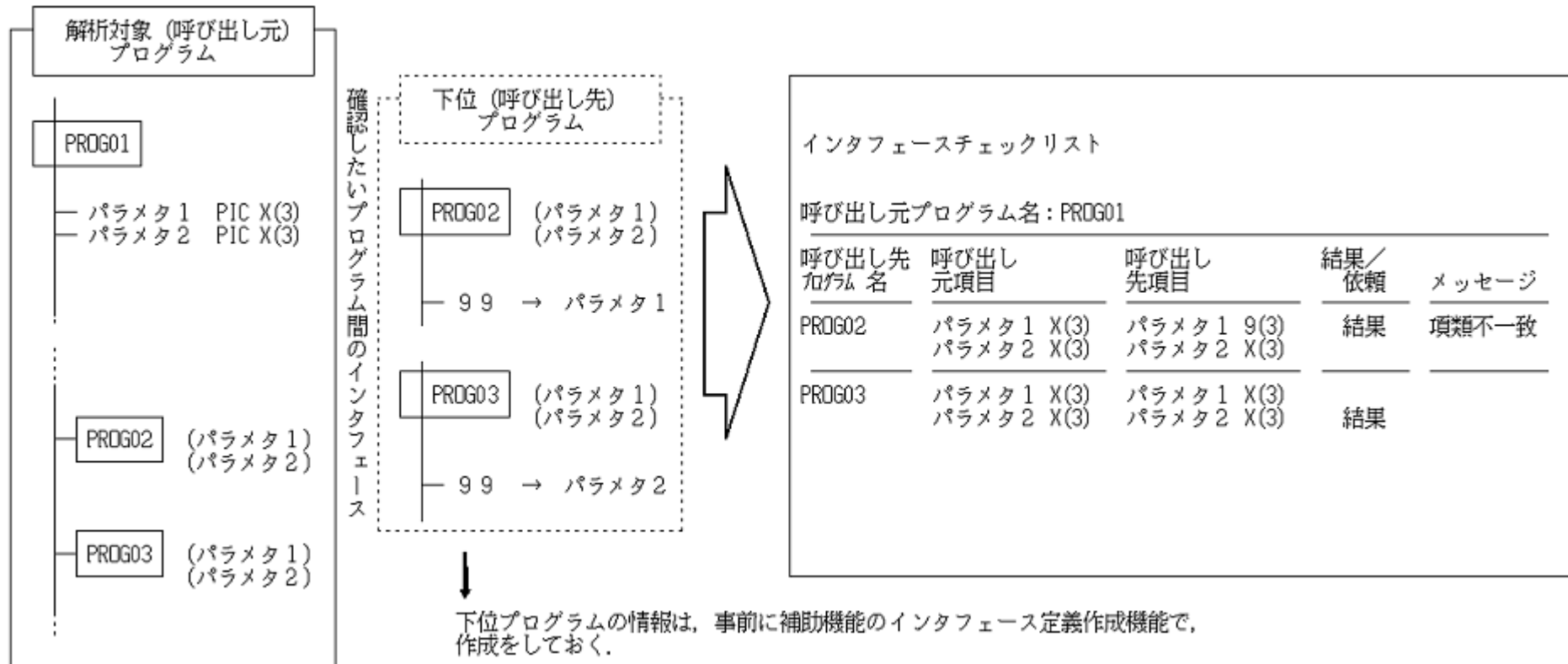
使用項目一覧出力機能

プログラム中で、データ項目が、設定されているのか参照されているかを一覧で出力し、
設定、参照もれをチェックできる。

4.1 リスト出力例

(1) インタフェースチェックリスト

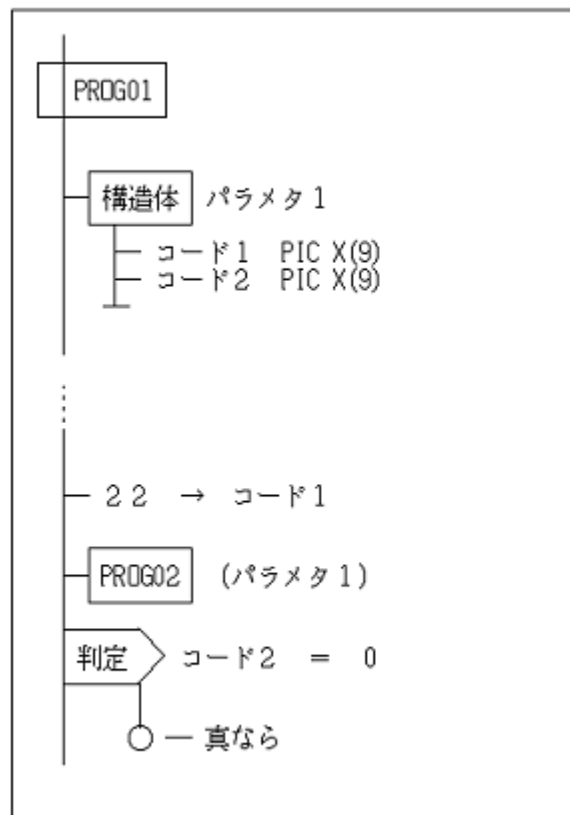
プログラムが別のプログラムを呼び出すときに受け渡しする、パラメタの個数、桁数、項類などをチェックし、プログラム間のインタフェースの確認ができる。また、パラメタが依頼項目か、結果項目かを表示する。ただし、下位プログラムの情報は、インタフェース定義作成機能により事前に作成する必要がある。



4.2 出力例

(2) CALLパラメター一覧

プログラムが他プログラムを呼び出す時に使用するパラメタの内容を表示する。
また、プログラムがパラメタを依頼(設定)項目としているのか、結果項目(参照)としているのかも表示するので、リターンコードの判定もれなどのチェックができる。

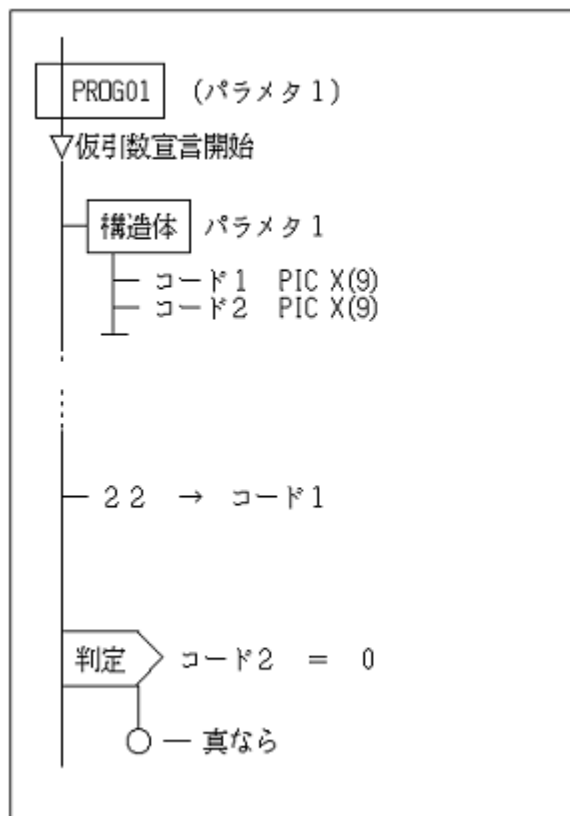


CALLパラメター一覧			PROG01				
下位プログラム名	依頼	結果	No.	レベル	項目名	属性	値域・意味
PROG02	○	○	1	01 02 02	パラメタ 1 コード 1 コード 2	X(9) X(9)	

4.3 出力例

(3) PROCパラメター一覧

プログラムの手続き部のUSING句で定義されているパラメタの内容を表示する。
また、プログラムがパラメタを依頼項目としているのか、結果項目としているのかも表示する。
プログラムの使用手引書として使用することができる。

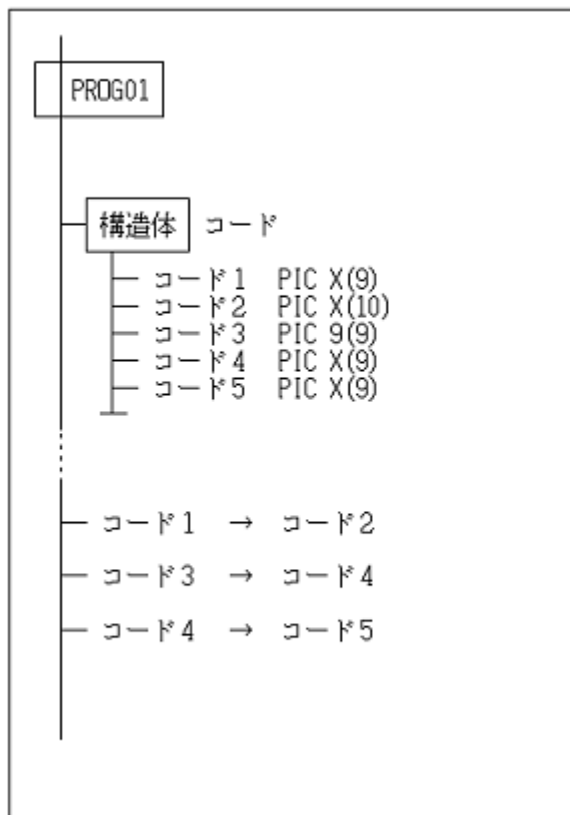


PROCパラメター一覧		PROC01		
依頼	結果	項目名	属性	値域・意味
○	○	パラメタ 1 コード1 コード2	X(9) X(9)	

4.4 出力例

(4) 不当転送チェックリスト

プログラムの転送命令などの値の移動をとまなう命令について、属性などの矛盾をチェックする。
どのような関係を矛盾とみなすかは、メッセージファイルを修正することにより、利用者独自に設定することができる。



不当転送チェックリスト

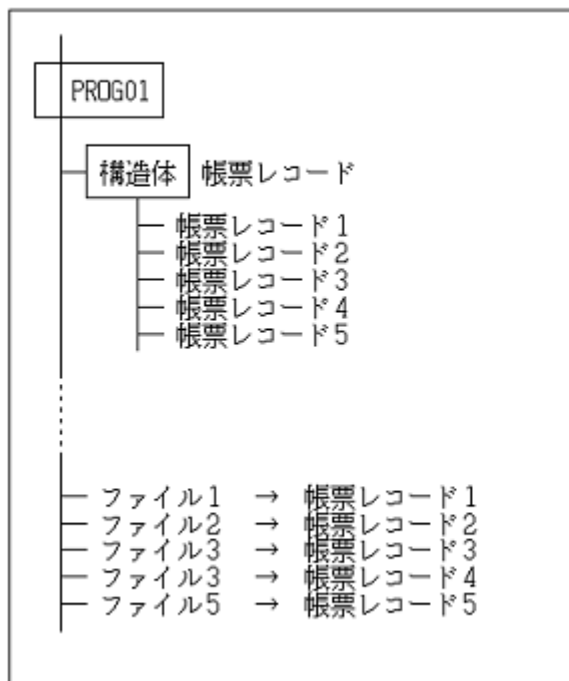
プログラム名 PROG01

SEQ	命令	転送元項目名	属性	転送先項目名	属性	メッセージ
500	転記	コード1	X(9)	コード2	X(10)	桁数エラー
600	転記	コード3	9(9)	コード4	X(9)	項類エラー
700	転記	コード4	X(9)	コード5	X(9)	

4.5 出力例

(5) データ項目関連図

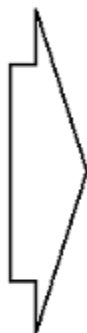
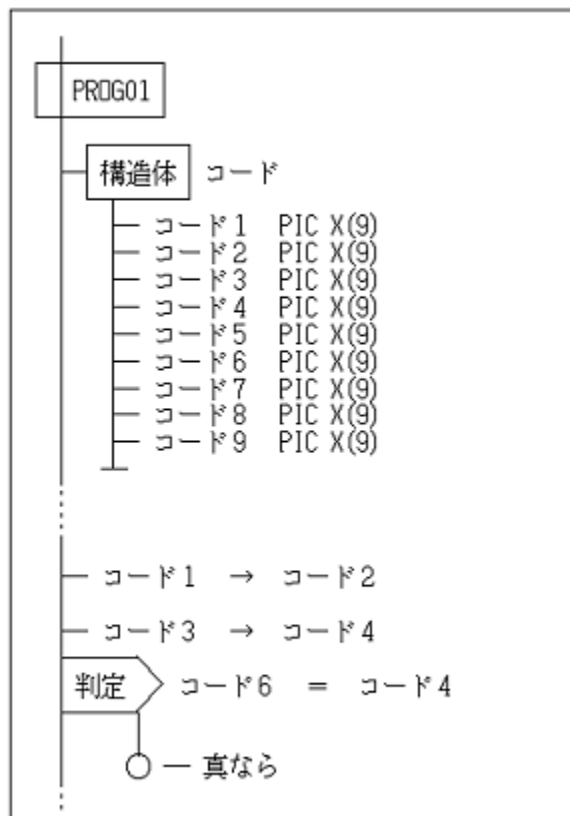
プログラム中のデータ項目の内容を追跡し、データ項目はどのデータ項目から送られているかを出力する。
このドキュメントにより、帳票などのデータ項目に、正しくデータが送られているかの検証ができ。



4.6 出力例

(6) 使用項目一覧

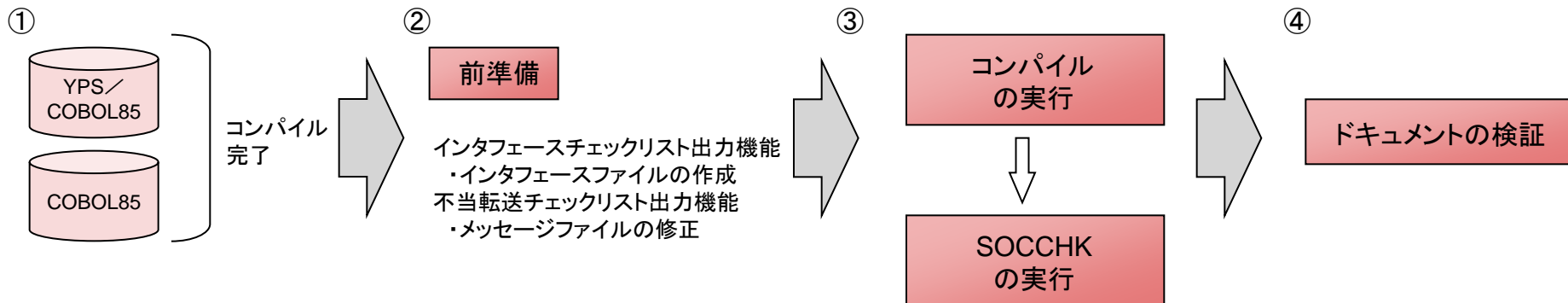
プログラムで定義されているデータ項目と、その使用状況を一覧で表示する。
使用状況はセクション単位でも出力できる。
未使用項目の検出や、設定漏れの検出ができる。



使用項目一覧		PROG01			
No.	レベル 番号	データ項目名	参照	設定	備考
1	01	コード			
2	02	コード1	○	○	
3	02	コード2	○		
4	02	コード3	○		
5	02	コード4	○	○	
6	02	コード5			
7	02	コード6	○		
8	02	コード7			
9	02	コード8			
10	02	コード9			

5. 運用方法

SOCCHKを利用して、プログラムレビューをするために



① YPS/COBOL85又はCOBOL85を対象とする。ただし、コンパイルエラーのあるプログラムについては、処理は保証されない。

② ・インタフェースチェックリストを出力するために補助機能（インタフェース定義作成機能）により‘インタフェースファイル’を作成する。
・不当転送チェックリスト出力機能に出力する、チェックレベルを検討し、メッセージファイルを利用者環境用に修正する。

③ COBOLコンパイルのオプションに‘DCT’を指定して、SOCCHKの入力とする。SOCCHKの起動用ジョブ制御文に、実行時オプション及びSYSIN制御文で解析範囲の指定をし、実行する。

6. 使用上の注意事項

(1) 必須ソフトウェア

プログラム名	必須	選択	備考
COBOL85	○		
ソートマージ	○		
ADJUST	○		
JEF基本辞書	○		
GEM		○	対象ソースがGEMの場合
PFD		○	どちらか一方が必要
AP/DF		○	
YPS/BASE		○	処理対象プログラムがYPS/COBOL85 で記述されている場合
YSP/COBOL85		○	

(2) 必須ハードウェア

- ・プリンタの対応機種は以下の通り。ただし、水平スキップ機能が必要である。
NLP : F6700D, F6715E, F6718C, F6718D
CLP : F6724C, F6724D

(3) 入力プログラム

YPS/COBOL85又はCOBOL85で記述され、コンパイルエラーのないこと。
SOCCHKは、COBOLコンパイルの結果を入力とする。

(4) 日本語名標辞書

使用可能な日本語名標辞書は、ADJUSTの日本語項目変換辞書でCOBOL85 DFのランダムアクセス形式のもの。

～ お客様のご要望にお答えします ～



Q/Aサービス

製品の使い方や適用例について詳しく聞きたい

無償レベルアップサービス

レベルアップ版は無償で提供して欲しい

最新情報のご案内サービス

新製品情報、バージョン／レベルアップ情報を知りたい

トライアルユースサービス

導入検討中のSIMPLIA製品を試用したい

製品媒体再提供サービス

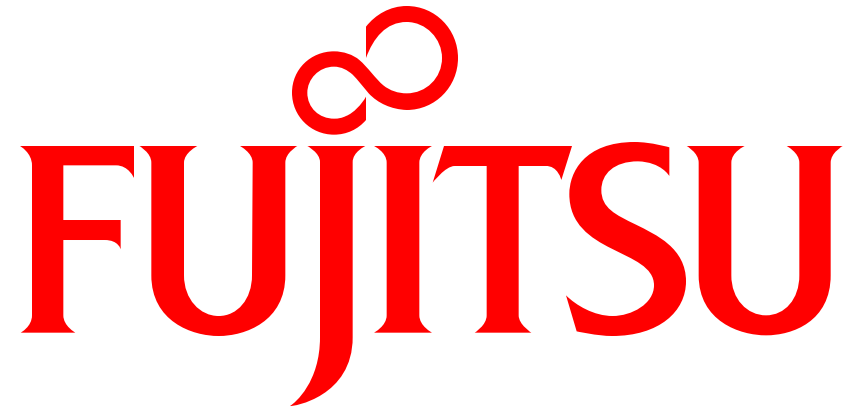
紛失・破損した製品媒体を再提供して欲しい

障害情報通知サービス

導入製品の障害情報を提供して欲しい

SIMPLIAに関する最新の情報は、下記URLの富士通サイト内検索から「SIMPLIA」で検索してください。

URL : <https://www.fujitsu.com/jp/>



shaping tomorrow with you